



一般農業（農業・畜産） 農業県やまがたを支える技術職

- 主な業務：新品種開発等の研究、農業者の技術的支援、栽培技術や農業経営の改善に関する普及活動、6次産業化への支援 など
- 主な配属先：農業総合研究センター、総合支庁農業技術普及課、農林水産部 など

現在の担当業務（農業）は

西置賜地域の果樹（さくらんぼ、りんご、西洋なし、もも、ぶどう等）の栽培技術普及を行っています。園芸農業研究所所属の時はりんご担当でしたが、普及課では果樹全般を担当しており、覚えることが多く、全く触れていなかった果樹について質問されることもあります。しかしそのたびに様々な知識が増えていくことが面白いです。また、調べてまとめた技術情報について、生産者の方から感謝されたときは、頑張ったよかったと思います。



西洋なし春管理講習会の様子

生産者の方から感謝されたときは、頑張ったよかったと思います



高山 宥美

置賜総合支庁産業経済部
西置賜農業技術普及課
(令和4年度採用)

..... 入庁後の経歴

令和4年度 園芸農業研究所
令和7年度～現職

県職員を選んだ理由は

もともと植物や自然が好きで、農業に関連した仕事に就きたいと考えていました。また地元の特産品に携わりたい気持ちがあったため、安定した職業として県職員、その中でも地元で根付いて農業を支援できる一般農業区分を選びました。

生産性や品質が向上したときにやりがいを感じます



飯島 悠介

庄内総合支庁産業経済部
酒田農業技術普及課
(令和5年度採用)

現在の担当業務（畜産）は

主に飼料用稲を生産する耕種農家と利用する畜産農家のマッチングや、自給飼料生産性向上のための実証試験や巡回指導を行っています。これまでの課題を整理したことで、生産性や品質が向上したときにやりがいを感じます。

県職員に興味がある方へメッセージを

畜産職の業務内容は行政、普及、研究、様々な方面から畜産農家を支えることです。配属先によって求められる知識や技術は様々で大変な部分はありますが、その分やりがいのある仕事です。現在、若手職員が増えてきており、仕事の面でもプライベートの面でも話しやすい人が多いです。ぜひ、山形県の畜産を盛り上げていきましょう。



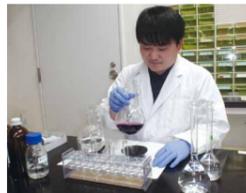
水田の肥料濃度調査の様子

化学 山形の環境は私たちが守ります

- 主な業務：大気・水・土壌などの調査・研究、工場等の排ガス・排水・廃棄物の処理に関する監視・指導、地球温暖化対策 など
- 主な配属先：環境エネルギー部、総合支庁環境課、環境科学研究センター、企業局、衛生研究所 など

現在の担当業務は

山形県の大気中の有害大気汚染物質について調査し、大気汚染状況の把握や評価をしたり、大気環境に関する研究を行っています。大学で学んできたことを活かしながら、分析などの専門的な作業を通して、自身の成長を感じることができています。また、自身の業務が大気汚染状況の把握に役立ち、山形県のきれいな空気を守ることに繋がっていると実感することができ、非常にやりがいを感じています。



サンプルの前処理の様子

地元の豊かな自然環境を守る仕事です



横尾 龍海

環境科学研究センター
大気環境部
(令和5年度採用)

県職員を選んだ理由は

将来は大学で学んだ化学の知識を活かすことができる仕事に就きたいと考えていました。化学職は化学の知識を活かしながら、地元の豊かな自然環境を守る仕事であり、その点に魅力を感じて県職員を選びました。

林業 森林資源の循環利用を進めるプランナー

- 主な業務：森林・林業施策の企画立案、先端技術（ICT等）を活用した再造林や間伐など森林の整備促進、木材など森林資源の利活用、林道整備の推進、山地災害の防止、森づくり活動・木育の推進 など
- 主な配属先：農林水産部森林ノミクス推進課、環境エネルギー部みどり自然課、総合支庁森林整備課、森林研究研修センター など

現在の担当業務は

森林を健全に保つため、山の土砂崩れを防ぐ治山ダムなどの治山事業を担当しています。治山ダム設置箇所の計画から、治山工事の設計・発注、工事の監督と、事業の始まりから終わりまで関わります。業務内容は多岐にわたるため、覚えないといけないことも多く大変な部分もありますが、自分が担当した治山ダムが完成した際の達成感はひとしおです。

職場の雰囲気は

幅広い年代の人が働いており、困ったことがあった場合は詳しい上司に聞いたりして、協力しながら働いています。仕事の内容のためか、自然が好きで人が多く、休日には一緒に釣りに行ったりしています。

県職員を選んだ理由は

もともと自然が好きで、県外の大学で森林のことを学んでいたところ、生まれ育った山形県は森の多い県でもあるため、学んだことを活かして森林の分野から山形県を活性化させたいと思うようになり、県職員を目指しました。



工事支障木の確認の様子



鋼製枠の材料確認の様子

担当した治山ダムが完成した際の達成感はひとしおです



岸 真浩

庄内総合支庁産業経済部
森林整備課
(令和元年度採用)

..... 入庁後の経歴

令和元年度 農林水産部
森林ノミクス推進課
令和4年度～現職

水産 「山形の美味しい魚を届けたい」生産者の想いに応えます

- 主な業務：水産業の成長産業化に向けた施策の立案・実施、漁業就業支援、漁業調整、漁業取締り、試験研究業務 など
- 主な配属先：農林水産部水産振興課、庄内総合支庁産業経済部水産振興課、水産研究所、内水面水産研究所

現在の担当業務は

サケの人工ふ化放流事業の技術指導や庄内浜産ブランド魚介類のPR等の業務を担当しています。私自身、まだ入庁して2年目ですが、実際に現場に赴く機会が多く、何度も訪れるうちに業務の中で関わる方々に顔や名前を覚えていただき、より円滑にコミュニケーションをとることができるようになりました。そのおかげもあり、自分が行った仕事に対するフィードバックを現場から直接得ることができ、日々やりがいを感じて業務に当たることができています。

県職員を選んだ理由は

幼い頃から海が好きだった中で、大学では水産学を専攻し、そこでの実践的な学びを通じて、水産に関わる仕事をされている方々を様々な形で支える水産職の県職員の立場に魅力と憧れを持っていたことから現在の職業を志しました。

県職員に興味がある方へメッセージを

私は県内出身ではありませんが、「水産職の地方公務員になりたい!」という思いから、縁があって山形県の職員として働いています。特に水産職の仕事は県内だけの仕事に留まらず、県外に足を延ばして行う業務もあり、水産に関わる様々な立場の方々と関わりを持つことができるため非常に魅力的な職業だと思います。

様々な立場の人と関わりを持つことができます



小学生への出前授業



千葉 春輝

庄内総合支庁産業経済部
水産振興課
(令和6年度採用)



サケ稚魚の検査の様子